

人権擁護委員の狩野さんが退任 長年の普及啓発活動へ感謝状



左から佐藤町長、退任した狩野眞理子さん、盛岡地方法務局宮古支局長佐藤透支局長、宮古人権擁護委員協議会宮城貞子会長

人権擁護委員の狩野眞理子さん(飯岡)が昨年12月31日で退任し、このほど法務大臣から感謝状が贈られました。

平成20年から14年間委員を務め、この間、人権擁護の普及啓発活動などに尽力されてきた狩野さん。1月31日には、盛岡地方法務局の佐藤透宮古支局長から感謝状が伝達され、「これまでの経験を生かし、今後も町民に寄り添って生活していきたいです」と話していました。

新たに竹内さんが選任

人権擁護委員に竹内幸司さん(飯岡)が選任されました。任期は令和5年1月1日から3年間です。

竹内さんは「少しでも皆さんのお役に立てるよう努めてまいります」と抱負を述べています。



人権擁護委員
竹内 幸司さん

叙位・従六位

故 川村敬一さんに贈られる

町の発展に大きく貢献

元町議会議員の故川村敬一さん(豊間根・89)に、このほど死



従六位を贈られた
故 川村 敬一さん

亡叙位として、従六位が贈られました。

川村さんは、昭和54年4月から平成19年4月までの7期28年にわたり、町議会議員として地方自治の発展に尽力。その間、建設常任委員会や産業建設常任委員会、総務常任委員会の委員長などの要職を務め、円滑な議会運営に努められました。

在職中は、本町の発展には三陸縦貫自動車道の早期整備や宮古横断道路の整備が欠かせないと訴え、積極的な議会活動を展

開。町議会や町民と一体となって、国や県などの関係機関へ強く要望し、平成14年8月には、三陸縦貫自動車道「山田道路」の開通が実現しました。

このほか、老朽化が進む町内小中学校の改築や公共下水道施設の必要性などを各方面に働きかけ、豊間根中学校や山田中学校・田の浜地区での下水処理施設の整備を実現。教育環境の整備や水産業の振興、快適な住環境の整備に大きく貢献され、平成26年11月には、旭日双光章を受章しています。

川村さんは、昨年11月18日に死去されました。ここに生前の功績をたたえ、ご冥福をお祈りします。

町長室から

3月11日が問もなくやつてくる。この日、本町は鎮魂の一日となる。東日本大震災から今日まで国内や世界では、数々の自然災害によつて多くの方が犠牲となった。過日もトルコとシリアで大地震が発生し、世界が悲しみに暮れている。トルコでは、耐震化が不十分な建物が多かつたことが大規模被害の原因であると言われているが、起因は自然災害であり、いかんともしがたいものがある。一方、トルコのそばで起きているウクライナ戦争は、明らかに人災である。戦争は、それぞれが相手国に非があるという考え方であるため終わらせることが難しい。終戦を迎えてもその地には怨念が残り、後世に語られていく。この繰り返しは人類の歴史なのだが、英知を集めて何とか停戦にできないものだろうか。戦争が長く引くほど犠牲者は増え、憎しみが蔓延し世界は複雑困難なものになっていく。

山田町長 佐藤 信逸